

## 病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	舌喉頭全摘再建術後の口腔形態に関する後方視的検討
当院の研究責任者 (所属)	清水 雄介 琉球大学大学院 医学研究科 形成外科学講座
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	舌喉頭全摘術に対して腹直筋皮弁による一次再建術を行った症例を抽出し、術後の口腔形態について検証する
研究実施期間	研究機関の長の許可日～ 2028年3月31日
調査データ(該当期間)	2015年4月～2028年3月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま</p> <p>2015年4月から2028年3月迄の期間で、琉球大学病院において舌喉頭全摘術に対して1次再建を行った症例の患者さまが対象となります。</p> <p>●利用する試料・情報</p> <p>試料については採取しません。</p> <p>基本情報について</p> <p>基本情報(手術時年齢・性別・診断名)・BMI・皮弁の面積・再建後の口腔咽頭形態(隆起型・平坦型・漏斗型)・経口摂取開始までの期間・経口摂取の可否・術後放射線療法、合併症の有無、入院期間の術後の写真、データを用います。また、管理については琉球大学大学院 医学研究科 形成外科学講座清水雄介が責任を持って管理します。</p> <p>本研究において当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化する。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いない。また、同意の範囲外において情報の利用を行わない。研究結果については日本形成外科学会総会・学術集会などの学会発表や、学術誌での発表を予定しており、各症例はNational Clinical Database (NCD)へ登録されている。

試料・情報の二次利用	本研究で取得した試料・情報の利用は、本研究のみに限ります。二次利用は行いません。
個人情報の取り扱い	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用しません。また、同意の範囲外において情報の利用を行いません。
本研究の資金源 (利益相反)	運営交付金にて行います。
お問い合わせ先	琉球大学大学院 医学研究科 形成外科学講座 電話：098-895-1768 担当者：清水雄介
備考	